

かきくけ航海日誌

滋賀県立びわ湖フローティングスクール
〒520-0047 大津市浜大津5丁目1番7号
<http://www.uminoko.jp/>



船内見学時に

「みずうみに学んで 世界の明日をみる」 「かきくけ航海」を生み出そう！

合言葉 か・・・考える き・・・気づく く・・・工夫する
け・・・継続する こ・・・行動する

「タブレット学習」の可能性



【所長 新庄 正幸】

タブレット20台を持ち込んで、びわ湖環境学習に広がりを持たせていただいた航海がありました。びわ湖で主に見られるプランクトンを、顕微鏡でも小さくにし観察・確認できませんが、タブレットを使うと、種類ごとに大きな画面で見られ、さらにピンチ操作により拡大することができます。動画も取り入れられていました。

そのことによって、プランクトンの細部や動きについても観察することができ、種類の識別がしやすくなり、子どもの主体的な学びを支えていました。

フローティングスクールでは、事業を理解していただく一つとして、情報発信事業に力を入れています。当スクールのホームページによる情報提供を目的として、随時更新を行っています。年間約20万件、1日平均約550件のアクセスがあります。例えば、児童学習航海の1日目の夜に、乗船から「湖の子」のタベまでの活動の様子や展望風景を、ホームページを通してスライドショーとして画像発信しています。

また、航海終了後には、各航海での児童の活動の様子や琵琶湖の風景などをまとめ、「航海日誌」として発信し、同時に、「湖の子」水調べとプランクトンウォッチングが実施された場合の調査結果も掲載しております。

先生方や子どもたちにもホームページを活用していただいています。「FSのホームページを自分たちで実際に見ることで、見通しと参加意欲を高めた。下船後もホームページを見て、自分たちの活動の足跡の振り返りや他校との比較に生かした。」「琵琶湖の何に興味を持ち、自分の課題を追究していきたいかを見極めるために、ホームページを参考にして調べ学習をスタートした。」「FSのホームページにある島の情報を積極的に活用し、調べ学習の充実を図った。」等々の声にあるように、「うみのこ」乗船前の事前学習や下船してからの事後学習に、フローティングスクールのホームページをおおいにご活用いただければと考えています。

かきくけコーナー

第9回航海のことです。特別支援学校児童1名との交流乗船でした。この子どもは夕食後下船する予定だったので、1日目の船内見学時に次のような交流が生まれました。ピアノが得意なことから、学習室でピアノを弾き見事な演奏を披露してくれました。それを船内見学で回ってきたたくさんの児童が聞き入り、演奏が終わると大きな拍手が起こるなど、ちょっとしたショートコンサートが行われているようでした。(右上写真)また、大津湖岸ウォークラリーでは、その子どもの車いすを交代で押す児童の様子も見られました。

児童下船後、タベのつどいでは引率教師による学校紹介が行われ、学校理解が進みました。